

## 前 号 目 次

献 辞	南 川 和 範
論 説	
イギリスの EU 離脱と政治機構	梅 川 正 美
いわゆる非両立性基準の問題点について	梅 田 豊
立法技術に関する研究 V	
——適用と準用に関する諸問題——	榊 原 志 俊
フランスにおける行政裁判による実効的救済の観点からみた 基本的自由保護急速審理の位置づけ (2)	杉 原 丈 史
結党3年の「ドイツのための選択肢」	
——3州議会選挙結果および基本綱領の 分析を中心に——	中 谷 毅
要保護性再考	服 部 朗
多重代表訴訟	服 部 育 生
量刑における「基点」概念の意義	野 村 健 太 郎
精神障害者の加害行為における不法行為法上の帰責の問題	
——JR 東海事件最高裁判決の検討を通じて——	前 田 太 朗
内部統制システムと経営判断原則	村 上 康 司
国連安全保障理事会の武力行使容認決議による国際人道法の補完	
——比例性原則に基づく敵対行為の制限——	尋 木 真 也
判例研究	
認知症患者の徘徊事故に対する監督義務者の責任	田 上 富 信
翻 訳	
グロースフェルト・ムント共著	
「BGB832条1項に基づく両親の責任」	佐 藤 啓 子 訳
黒神聰教授 略歴並びに研究業績一覧	